

ハンドボール



(財) 日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. 151

No. (16名用)

スローオフチーム 宮城県

A	宮城県	東京都	B
---	-----	-----	---

確認サイン: 17 (10分) 20分 13分

7m TC

選手名: 森 順一

大会名: 第67回国民体育大会 ぎふ清流国体

平成24年10月5日(金) 場所: 下呂交流会館

種別: 成年 男(女) 回数: 第11回戦 準決 決 リーグ

A	宮城県		警告	退場	失点	チームタイムアウト	
	前半	後半				前半	後半
役員A	片山 寛之					11	00
役員B	古賀 直哉						
役員C	鈴木 智彦					得点	
役員D	森 順一					前半	後半
1	荒木 林美						
2	高橋 郁					T	T
3	橋本 美幸					T	T
4	土谷 亜由美					T	F
5	志賀 純子					-	-
6	及川 彩月					-	-
7	齊藤 理佳子					-	-
8	鈴木 マリナ					-	-
9	藤原 有希					-	-
10	渡邊 麻里菜					-	F
11	菅野 絢香					-	-
12	鈴木 千尋					-	T
合計						7	10

B	東京都		警告	退場	失点	チームタイムアウト	
	前半	後半				前半	後半
役員A	高野 亮						
役員B	八尾 泰寛						
役員C	池田 鉄哉					得点	
役員D						前半	後半
1	伊地知 皇穂						
2	泉谷 悠					正	T
3	陣野 隆					T	T
4	松尾 祐希					正	正
5	一木 千帆					正	正
6	笠木 美希					F	T
7	間谷 舞					T	F
8	谷 智依					-	-
9	角屋 皇紀					-	-
10	石井 優希					-	-
11	川畑 博美					-	-
12	白石 士郎					-	-
合計						20	13

タイムキーパー: 高田 祐星

スコアラー: 古田 慎太郎

マッパバイサイン: 柳真一

審判員サイン: 中野 敬也

審判員サイン: 藤原 明雄

A	前半			B	後半		
	背番	結果	得点		背番	結果	得点
			0				
8	0	1	0	5			
			1	30	1	4	
3	2	1	5				
			2	16	W	5	
9	0	3	0				
			4	10	2	7	
			6	16	S	4	
11	0	4	6				
			6	52	3	6	
			8	09	4	3	
			8	30	5	2	
	T		11	00			
			11	21	6	2	
			12	31	7	4	
			13	06	8	4	
3	5	14	21				
			15	00	9	7	
			16	25	10	4	
			18	32	11	4	
			19	34	12	3	
			19	37	S	5	
			20	56	10	8	
6	W	20	57				
4	6	21	29				
			22	07	11	3	
			23	28	15	2	
			25	19	16	10	
			26	21	17	6	
			27	10	18	4	
			27	13	S	2	
4	X	27	14				
4	9	27	16				
			28	37	19	6	
			29	20	20	4	
17 - 20							

特記事項

ハンドボール

ぎふ清流国体ハンドボール競技

結果報告

No. 52

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月5日(金)	試合記号	Eb	回戦	1回戦
種別	成年女子	会場	下呂市交流会館		
A(都道府県名)			B(都道府県名)		
宮城県			東京都		
得点合計	小計		小計	得点合計	
17	7	前半	20	33	
	10	後半	13		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【戦評】

記載者氏名 川瀬 善孝

1回戦、宮城県対東京都は宮城県のスローオフで開始された。前半立ち上がりは両チームとも、素早い動きとパス回しでスピーディーに展開された。宮城県のポストプレーに対し、東京都のディフェンスは警告、退場をとられ宮城県の7mスローによる3得点に対し、東京都は4番松尾選手のフェイントからのカットインシュートやポストシュート、7番門谷選手のサイドシュートで得点した。7分過ぎから東京都のディフェンスが機能し始め、パスカット等による速攻の得点を重ね一気に流れを掴み、前半を20-7で東京都が点差を広げて終了した。

後半立ち上がり東京都は2名退場者を出し、宮城県は10番渡邊選手のサイドシュート、11番菅野選手の速攻で得点し、点差を縮めたが、東京都は4番松尾選手の速攻や6番笠木選手のロングシュートの得点、12番鈴木選手の好セーブが光った。

終了間際、東京都2番泉谷選手の速攻が連続決まる一方、宮城県は11番菅野選手のフェイントシュート、4番立花選手のロングシュートが決まり善戦した。前半の点差が響き、33対17で東京都が快勝した。